CICONIA 取扱説明書 **保証書付**

CPD-6090BK
9型液晶ポータブルDVDプレーヤー

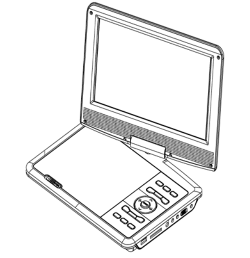
はじめに

このたびは壁掛け対応、9インチ液晶付ポータブルDVDプレーヤー CDP-6090BKをお買い上げいただきましてまことにありがとうございます。

※ この取扱説明書をよくお読みの上正しくご使用下さい。
※ 本取扱説明書には保証書が附属していますので大切に保管して下さい。
※ 付属品をお確かめ下さい。

◆ 目次

安全上のご注意 及び ご使用にあたってのお願い ················ 2−4
主な特長 及び 付属品 ················ 4
各部名称 ················ 5−6
電源の接続 ················ 7
本体内蔵電池の充電 ················ 8
外部機器との接続 ················ 9
DVD・CDディスクについて ················ 10
DVD結露について ················ 10
DVD操作前の機能設定 ················ 11−12
DVDの基本操作 ················ 13
CD/CDのいろんな操作 ················ 14−15
CD/MP3-CDの基本操作 ················ 16
SDカード/USBメモリーについて ················ 17
USB/SDカード再生 ················ 18
CDからUSBメモリー/SDカードにMP3録音 ················ 19−20
製品仕様 ················ 21
故障かな？とおもったら ················ 22−23
保証書 ················ 24



MPEG4/DVD/VCD/CD/MP3

安全上のご注意

■ご使用の前にこの「安全上のご注意」をよくお読みの上正しくお使いください。
■お読みになった後もいつでも見れるところに必ず保管して下さい。

絵表示について この取り扱い説明書には、使用者が製品を安全にお使いいただき、理解し易い様に色々な絵表示を使用しています。誤った取り扱いをすることによって生じる内容を次のように区分しています。いずれも重要な内容ですので必ず守って下さい。

絵表示の例

⚠ 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が障害を負う可能性及び、物的損傷の発生が想定される内容を示しています。
分解禁止 ⃠	記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中に具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。
●	記号は、使用者の行為を指示強制したりする内容であることを告げるものです。図の中に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグを電源コンセントから抜く)が描かれています。

⚠ 警告

禁止 交流100V以外の電圧では使用しないで下さい。
＊火災・感電の原因となります。

禁止 本機に水をかけたり、濡らしたり、また本機の上に水などの入った容器や小さな金属物をおかないで下さい。
＊火災・感電の原因と なります。

注意 本機を落としたりして破損した場合は、まず電源スイッチを切り、電源プラグを抜いて下さい。
＊そのまま使用すると火災・感電の原因となります。販売店に修理を依頼下さい。ご自身での修理は危険ですから、絶対にお止め下さい。特にお子様のいるご家庭ではご注意下さい。

禁止 電源コードやプラグを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねたりしないで下さい。また、重い物を載せたり、挟み込んだり、加工したりすると、電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。
＊コードやプラグの修理は販売店にご相談下さい。

接触禁止 雷が鳴っている時は、絶対にAC電源プラグに触れないで下さい。
＊感電の原因となります。

ぬれ手禁止 ぬれた手で電源プラグを抜いたり差したりしないで下さい。
＊感電の原因となります。

分解禁止 絶対に分解したり・修理・改造は行わないで下さい。（キャビネットも外さないで下さい。）
＊火災・感電の原因となります。
販売店で点検・整備・修理をご依頼下さい。

禁止 本機の内部に金属類や燃えやすいものなどを入れたり、落としたりしないで下さい。
＊火災・感電の原因となります。
特にお子様のいるご家庭ではご注意下さい。

⚠ 警告

注意 変な臭いや音がしたり、煙が出たらすぐに電源スイッチを切り、電源プラグを抜いて下さい。
＊そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。販売店に修理を依頼下さい。ご自身での修理は危険ですから、絶対におやめ下さい。

注意 本機の中に水や異物が入った場合は、まず電源スイッチを切り、電源コンセントから本体の電源プラグを抜いて下さい。
＊そのまま使用すると、火災、感電の原因となりますので、販売店にご相談下さい。

指示 電源プラグのほこりや汚れを定期的に乾いた布でふき取って下さい。
＊プラグにほこりなどがたまると、湿気などで絶縁劣化となり、火災の原因となります。

レーザー光 禁止 レーザー光線をのぞきこまない。
＊レーザー光が目に当たると視力障害を起こすことがあります。

注意

注意 電源プラグは根元まで確実に差し込んで下さい。
＊差込が不完全な場合、感電や発熱による火災の原因になります。
＊抜く時は、コードを引っ張らずに、必ず電源プラグ本体を持って抜いて下さい。

禁止 本機に布をかぶせたりしないで下さい。
＊内部に熱がこもり、火災の原因と なりますので、ご注意下さい。
＊テーブルクロスを掛けたり、じゅうたんや、布団の上に置かないで下さい。
＊本機を押入れなどの風通しの悪い狭いところで使用しないで下さい。

注意 効果的な放熱の為に、他の機器との間は少し離して置いて下さい
＊間隔が不十分ですと、火災・故障の原因となります。ラック等に設置する時は、本機の前後左右天面から15cm以上のすきまを空けて下さい。

禁止 直射日光が当たる場所や異常に温度が高くなる場所に置かないで下さい。
＊ キャビネットや部品の故障の原因となったり、内部の温度が上昇し、火災の原因となります。

電源プラグをコンセントから抜く 本機を移動する時は、必ず電源スイッチを切り、電源プラグを抜いてから、外部接続コードをはずして下さい。
＊感電の原因となります。

電源プラグをコンセントから抜く お手入れの際は、安全の為、電源プラグを必ず電源コンセントから抜いて下さい。
＊感電の原因となります。

電源プラグをコンセントから抜く 長時間使わないときは、必ず電源プラグを電源コンセントから抜いて下さい。
＊火災の原因となることがあります。

電源プラグをコンセントから抜く 各機器との接続のときは、必ず電源スイッチを切り電源プラグを抜いて、取扱説明書に従って接続して下さい。
＊それぞれの機器の取扱説明書をよく読み指定のコードを使用して接続して下さい。

禁止 振動する場所やぐらつく台の上、傾いた所等、不安定な場所に置かないで下さい。
＊倒れたり、落ちたりして怪我の原因となります。

禁止 湿気や埃の多い場所には置かないで下さい。
＊火災や感電の原因となります。

ご使用にあたってのお願い

■必ずお守り下さい。

左右及び天面、後面の間隔は15cm程度空け、通気の良いところに置いて下さい。
熱がこもる状態で使用されますと、保護回路が働き音声レベルが下がったり、内部部品が破損する恐れがあり危険です。

⚠ 定期的に内部の掃除が必要です。販売店にご相談下さい。

本機の内部にほこりがたまったまま長時間使用しますと、火災や故障の原因になることがあります。特に湿気の多くなる梅雨時期前に行うと、より効果的です。 掃除費用については販売店にご相談下さい。

- ● 本機は民生用の映像や音楽などを再生する目的で設計されております。従って信号発生器やテストディスクの信号などを再生しますと、本機の故障の原因となるばかりでなく、スピーカーをいためる原因となる事があります。
- ● オーディオインターフェース規格は民生用と業務用では異なります。 本機は民生用のオーディオインターフェースに接続する目的で設計されています。業務用オーディオインターフェース機器との接続は本機の故障の原因となるばかりでなく、スピーカーを傷める原因となる事があります。
- ● ブラウン管式のテレビ等にスピーカーを近づけますと、映像がスピーカーとテレビ等の内部にある永久磁石の影響でゆがんだり、画面と色がにじむ場合があります。十分に間隔を取る様にして下さい。
- ●本製品の再生中に製品本体の近くで携帯電話などをご利用になりますとその電波により雑音が発生する場合があります。 雑音が発生する場合は携帯電話などを機器から離してご利用下さい。故障ではありません。

主な特長

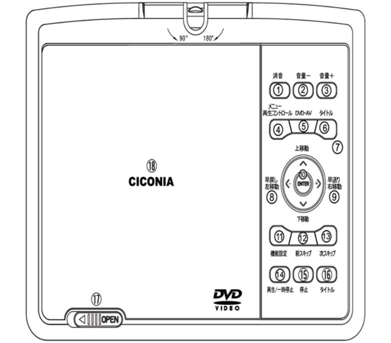
- ■ 9型液晶パネル付
- ■ 本格的DVDプレイヤー内蔵
（MPEG-4,DVD,DVD-RW,DVD-R,DVD+R,CD,CD-R,CD-RW形式再生対応）
- ■ VRモードのCPRM対応
- ■ 外部機器接続用AV入力端子付
- ■ 音楽CDをMP3形式音楽へダイレクト変換／記録機能
- ■ SDカードスロット／USBインターフェース付
- ■ MPEG4,MP3,WMA,JPEG再生対応
- ■ 日本語OSD表示

付属品

■リモートコントロール　■取扱説明書　■ボタン電池(一個)(リモコン確認用)
■AVケーブル(入力と出力兼用)　■車載用DCケーブル
■ACアダプター(CPD-6090BK専用。他の機器には使用できません)。

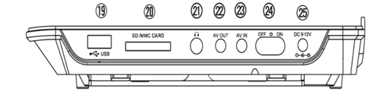
各部の名称

正面



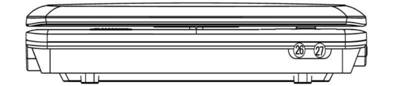
① 消音
② 音量ダウン
③ 音量アップ
④ メニュー/再生コントロール
⑤ モード切替(DVD/AV)
⑥ チャプタータイトル表示
⑦ 上下左右移動カーソル
⑧ 早戻し/左移動
⑨ 早送り/右移動
⑩ 確定
⑪ 機能設定
⑫ 前スキップ
⑬ 次スキップ
⑭ 再生/一時停止
⑮ 停止
⑯ タイトル(再生情報表示)
⑰ ディスクドアー開閉キー
⑱ ディスクドアー

左側面



⑲ USB端子
⑳ SD/MMCカード挿入口
㉑ ヘッドホン
㉒ AV出力(AV OUT)
㉓ AV入力(AV IN)
㉔ 電源スイッチ
㉕ 電源端子

前面

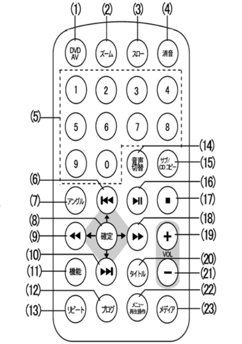


㉖ 電池量/充電表示ランプ　㉗電源表示ランプ

各部の名称

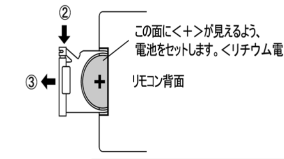
リモートコントロール

(1) DVD/AVモード切替
(2) ズーム再生
(3) スロー再生
(4) 消音
(5) 数字キー
(6) 前スキップ/上に移動
(7) アングル切替
(8) 確定(ENTER)
(9) 早戻し/左に移動
(10) 次スキップ/下に移動
(11) 機能設定
(12) プログラム設定(プログ)
(13) リピート再生
(14) 音声切り替え(AUDIO)
(15) 字幕表示切替/CD/MP3変換録音
(16) 再生・一時停止
(17) 停止
(18) 早送り /右に移動
(19) 音量アップ
(20) タイトル画面表示
(21) 音量ダウン
(22) メニュー／再生コントロール
(23) メディア/DVDモード切替



リモコンの電池交換方法

①差し込んである絶縁シートを抜き取ります。
②この頭に爪をかけ、下側に押し下げます。
③そのままの状態で、電池トレイを引き出します。



この面に＜＋＞が見えるよう、電池をセットします。＜リチウム電池の型番はCR-2025です。＞

リモコン背面

リモコン用ボタン電池について

リモコンのボタン電池は、ボタン形リチウム電池＜型番 CR-2025＞で、リモコンの中に内蔵して付属されていますが、動作確認用です。 通常使用分は別途、ご入手下さい。

■ 電池の取り扱いについて。
※⊕と⊖を逆に入れないで下さい。
※ 乳幼児の手の届くところに置かないで下さい。
※⊕と⊖を針金などで接続しないで下さい。
※ 加熱・分解したり、水などの液体や、火の中に入れたりしないで下さい。
※ 金属製のネックレスやヘアピンなどと一緒に持ち運んだり、保管しない下さい。

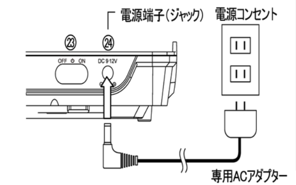
■ 電池の液がもれたときは、素手で液をさわらず、紙や布でふき取って下さい。
※ 液が目に入ったときは、失明の恐れがあります。目をこすらずに、すぐにきれいな水で洗ったあと、医師にご相談下さい。
※ 液が身体や衣服に付いたときは、皮膚の炎症やけがの原因になるので、きれいな水で十分に洗い流したあと、医師に相談して下さい。

■ 使い切った電池はすぐに本体から取り出して下さい。
※そのまま機器の中に放置すると電池の液もれや、発熱、破裂の原因になります。

電源の接続

本体と付属のACアダプターの接続

①付属のACアダプターのジャックを本体㉔電源端子に差し込みます。
②片側のACアダプター本体を100V電源コンセントに差し込みます。

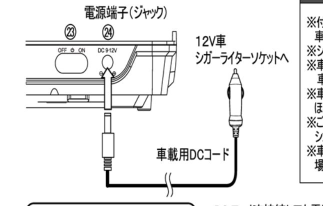


警告

※ 水のかかる場所で使用する時はACアダプターを使用しない。
※ ACアダプターは家庭用交流100Vのコンセントに接続する。
・交流100V以外を使用すると、火災・感電の原因になります。
※ ぬれた手でACアダプターを抜き差ししない。感電の原因となることがあります。
・付属のACアダプター以外は使用しない。付属以外のものを使用すると、火災・故障の原因と なります。
・通電中、ACアダプターの表面温度を高くなる場合がありますが、故障ではありません。
・持ち運ぶときは、ACアダプターを抜き、温度が下がってから行ってください。

本体と車載DCコードの接続

①付属の車載用DCコードのジャックを本体㉔電源端子に差し込みます。
②片側の端子をシガーライターソケットに差し込みます。

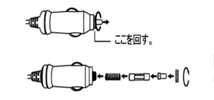


※自動車内で使う場合は、車載用DCコードを自動車のシガーライターソケットに接続して使用してください。

注意

※付属の車載用DCコードは、DC12Vマイナスアース車専用です。24V車では使用しない。
※シガーソケットを分配器などで増設して使用しない。
※車のエンジンをかけるときと切るときは、必ず車載用DCコードをシガーソケットから抜く。
※車載用DCコードおよびシガーソケットが灰やほこりで汚れていないか確認する。
※ご使用後は、必ず車載用DCコードを本体とシガーソケットから抜く。
※車種によっては、車載用DCコードを取り付けられない場合があります。

DC コードのヒューズ交換



DC コードを接続しても電源が入らない場合、以下のことを確認してください。
※ DC コードがシガーソケットに奥まで差し込まれているかどうか。
※ コードのキズの有無
※ シガーソケット内部の異物、汚れ. 本体の電源入力端子の接続
問題ない場合、以下の手順でDC コード内にあるヒューズが切れていないか確認する。
1. DC コードの先端部分のリングを左回り回してわして取りはずす。
内部のスプリングの力で、中の部品が飛び出してしまうことがありますので、注意して取りはずしてください
2. ヒューズの中を確認し、切れていた場合は交換する。
使用するヒューズは1.5A 250V です。他のヒューズは使用しない。
3. 元に戻す。 左の図を参考に元に戻してください。
ヒューズを交換しても電源が入らない、またはヒューズが切れていないのに電源が入らない場合は、シガーライターソケットが問題あるかもしれませんので、一度カー修理店にご相談ください。

本体内蔵電池の充電

■内蔵電池への充電

本機には電池パックが内蔵されています。 ご使用の前には、充電してお使いください。
特にはじめておつかいになる前には、必ず充電を済ませてください。
1. 本機の電源を切れた上体にする。
本機の電源を入れたままではバッテリーパックは充電できません。
2. コード・ケーブル類が接続されていれば、すべてはずす。
3. 本機にACアダプターを接続する。
充電が始まり、全面下部付近の、左側の充電表示ランプが赤色に点灯します。
充電中は、ACアダプターは抜かないでください。
4. 充電が完了すると、充電表示ランプが黄色にかわります。

★お知らせ★
※電池容量がすくなくなると、充電表示ランプが赤色で表示されます。
※充電は、周囲の温度が5℃〜35℃の環境でおこなってください。

バッテリーパックの充電時間の目安	約5時間

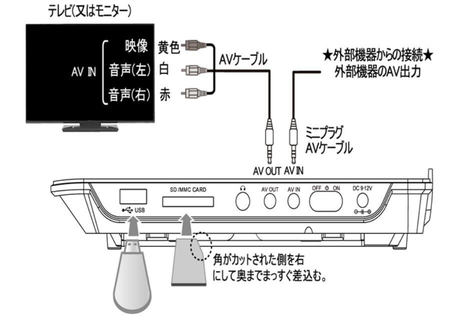
※あくまでも目安です。バッテリーパックの状態や周囲温度の温度などによって変わります。

バッテリーパック使用時のDVD連続再生時間の目安	最大約2時間

上記は目安であり、数値を保証するものではありません。
(条件：25℃、電源切。各種コード無し)
※バッテリーパックの状態、使用条件、周囲の温度などによってかわります。
※低温の環境で使用すると、連続再生時間は変わります

■バッテリーパックの寿命について
バッテリーパックには寿命があります。正常に充電しても使用できる時間が著しく短くなった場合は、当社にご相談ください。

外部機器との接続



テレビまたはモニター等の大画面でみる場合

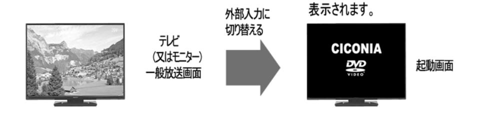
(1) ACアダプターを接続する。
(2) 附属のAVケーブルを使用して、
★ 黄色のプラグをテレビの映像入力端子に接続
★ 白のプラグをテレビの左音声入力端子に接続
★ 赤のプラグをテレビの右音声入力端子に接続
(3)リモコン①DVD/AVモード切替キーでAVモードに切り替えます。

外部機器の映像・音を本体で視聴する場合

(1)外部機器からのAV出力を本体AV INに附属のミニプラグ付ケーブルで接続。
(2)リモコン①モード切替(MODE)キーでAVモードに切り替えます。

■正しく接続されているか確認

(1)本機を接続したテレビ(又はモニター)の電源を入れる。
(2)テレビ(又はモニター)の入力を外部入力に切り替えると起動画面が表示されます。



DVD・CDディスクについて

■再生できるDVD 及び CD

●音楽CD, CD-R, CD-RW 及び ISO9660に準拠したMP3-CD
※CD-Gはご使用になれません。
※本製品は、CDの標準規格に従って設計されていますので、規格外のCDディスクを使用した場合、動作しない場合があります。
※右記のマークが入ったものをご使用下さい。
●DVD規格に準拠したDVD
※右記のマークが入ったものをご使用下さい。
■次のディスクは本機では再生できません。
※DVDオーディオ、SACD、音楽CD(およびVCD、MP3、JPEGディスク)以外のCD、DVD-RAM。
※録画機器、録画状態やディスク製造上の問題で再生できないディスクがあります。

■ディスクを取り扱う時のご注意

- ●ディスクは、必ずラベル側を上側にし、がたつかない様に、確実に装着して下さい。傾いたまま装着し、動作させると本体の故障の原因となりディスクも傷つきます。
- ●ディスクを持つ場合は、ディスクの記録面を手で触れない様にし、ディスクの中心の穴と外周を指ではさんで持って下さい。
- ●指紋やほこりによるディスクの汚れは、音質劣化の原因になり、ひどい場合はディスクが動作しません。
- ●記録面の指紋、ゴミ等がある時はやわらかい布で、中心から外側に向かって軽くふきます。
- ●使用後のディスクは、ゴミや汚れを防ぐため、必ずケースに入れて保管下さい。

必ず守って下さい。

- ●ベンジンやシンナー、アルコール、レコードクリーナー、静電防止剤等の化学溶剤は、ディスクをいためる事がありますので使用しない。
- ●ラベルなどを、記録面に貼らない。
- ●ペンなどでディスクに書き込みをしない。
- ●ディスクを無理に曲げたり、そらしたりしない。
- ●直射日光が当あたるところや、暖房器具のそばなど、高温や湿気の多いところに保管・放置しない。
- ●長時間使用しない時は、本機よりディスクを取り出し、ディスクはケース入れて保管する。

■ディスクを再生する時のご注意

- ●再生中に、本体をたたいたり、動かしたりして振動を与えないで下さい。画像・音飛びや故障の原因になります。
- ●ディスクトレイには、ディスク以外のものを、絶対に入れないで下さい。
- ●ディスク再生中は、ディスクドアーの開閉は絶対に避けて下さい。必ず 停止ボタンを押し、ディスクを完全に停止させてからドアーを開閉下さい。
- ●CD挿入は、必ず光っている記録面を内側にして一枚のみ入れて下さい。

★お願い★ データの破損について
お客様の取扱いや、静電気、電気的ノイズ、衝撃、または機器の故障により、ディスクやデータが破損した場合の損害については、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

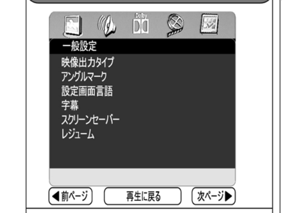
DVDの結露について

温度の低い場所から温度の高い場所へ本機を急に移動した場合など、内部レンズやディスクに結露(水滴)が生じ、正しく再生できない場合があります。その場合は、ディスクを取り出して、一時間ほど待ってから使用してください。

DVD操作前の機能設定

リモコンの「(11)機能設定キー」を押し、設定ページをテレビ画面に表示させます。その後、同じくリモコンの「(8)確定キー」と「(6)、(9)、(10)、(18)上下左右キー」で選定と確定の操作をします。

一般設定ページ



一般設定
映像出力タイプ
アングルマーク
設定画面言語
字幕
スクリーンセーバー
レジューム

1. 表示サイズ(TV画面タイプの選定)
※4:3PS･･･接続したテレビが通常の 4:3の画面比率の場合、画面全体に表示されます。しかし若干拡大されますので、ワイド映像を再生した時に左右が欠けます。
※4:3LB･･･接続したテレビが通常の 4:3の画面比率の場合、これにあわして映像全部が表示されます。ワイド映像の場合、上下に黒い帯が表示されます。
※16:9･･･接続されたテレビが16:9のワイド画面比率の場合、この画面比率に従った映像が表示されます。

2. アングルマーク オン/オフ切り替え。
DVDソフトの中には、違った角度から見た場合の映像も記録してあり、この場合、「(7)アングル(ANGLE)」をオンしておくと、マークが表示され、この機能が操作可能になります。

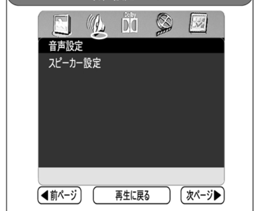
3. 設定画面言語
メニュー画面設定時の使用言語を選定します。
(日本語と英語のいずれかを選定できます。)

4. 字幕: 字幕表示の入／切を設定します。

5. スクリーンセーバー
スクリーンセーブ(画面節約)機能の入／切り)を設定します。「オンの場合、DVDの停止モードや、DVDドアーが開閉されたまま、或いはディスク挿入がない状態が60秒以上続いた場合、テレビ画面はDVDマークが移動するセーブ画面になります。

6. レジューム
オンした場合、前回鑑賞していたDVDソフトを途中で停止した箇所から再生を開始します。
オフにしますと、常にDVDの最初から再生します。

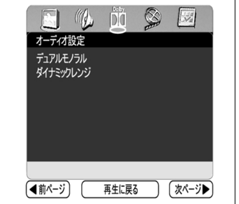
音声設定ページ



音声設定
スピーカー設定

スピーカー設定
※ダウンミックス･･･ステレオ音声か、モノ音声かを切り替えます。

オーディオ設定ページ



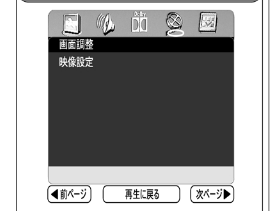
オーディオ設定
デュアルモノラル
ダイナミックレンジ

1. デュアルモノラル
再生時のオーディオ再生方式を選択します。
※ ステレオ･･･通常のステレオ方式の再生
※ モノラル左･･･左チャンネルに記録されたオーディオのみ再生。
※ モノラル右･･･右チャンネルに記録されたオーディオのみ再生。
※ ミックス･･･左右チャンネルを混合したモノラル再生

2. ダイナミックレンジ
音声の強弱域を調整します。

DVD操作前の機能設定

画面調整設定ページ



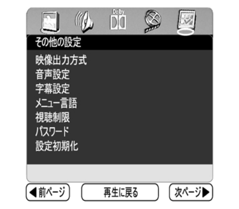
画面調整
映像設定

映像設定を選択します

※ 鮮明度
画面のクッキリ度を設定します。
※ 明るさ
画面の明るさを設定します。
※ コントラストの度合いを設定します。
※ 彩度
色の度合いを設定します。
※ 色調
赤味調や緑味調の度合いを設定します。

その他の設定ページ

★ご注意★ この設定はディスクをセットしているときはできません。ディスクをはずした状態で設定してください。



その他の設定
映像出力方式
音声設定
字幕設定
メニュー言語
視聴制限
パスワード
設定初期化

1. 映像出力方式
PAL、オート(自動)、NTSCの中から設定します。
日本の場合NTSCを選択します。

2. 音声設定
DVD再生時の言語を選定します。
日本語を選択した場合、DVDソフトの中に記録されている言語の中に日本語があれば、日本語で再生します。

3. 字幕設定
DVD再生時の字幕を選定します。
日本語を選択した場合、DVDソフトの中に記録されている字幕の中に日本語があれば、日本語で表示されます。

4. メニュー言語
メニュー設定時の言語を選択します。

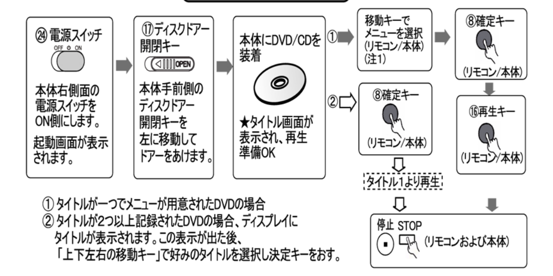
5. 視聴制限
暴力や性的シーンなどの過激な場面の視聴を制限します。
工場出荷時には、「成人」向け」に設定しています。
視聴レベルを変更する際はパスワード「0000」を入力して下さい。

6. パスワード
※パスワードモード･･･ 視聴制限を設定する際のパスワードを変更します。工場設定時は、パスワードモードは「オン」にしています。
※変更する際には、「パスワード」 ⇒ 「変更する」を選択し、「ENTER」決定キーを押します。⇒ 「旧パスワード」を数字キーで入力⇒ 「新パスワード」 4桁数字を入力⇒「パスワード確認」同じ4桁数字を入力⇒「ENTER」決定キーを押します。

7. 設定初期化
工場から出荷された時の初期設定に戻します。

DVDの基本操作

外部TVに接続しない場合



㉔電源スイッチ
OFF ON
本体右側面の電源スイッチをON側にします。
起動画面が表示されます。
⑰ディスクドアー開閉キー
OPEN
本体手前側のディスクドアー開閉キーを左に移動してドアーをあけます。
本体にDVD/CDを装着
★タイトル画面が表示され、再生準備OK
①
②
移動キーでメニューを選択(リモコン/本体)(注1)
⑧確定キー
(リモコン/本体)
⑯再生キー
タイトル1より再生
停止 STOP
(リモコンおよび本体)

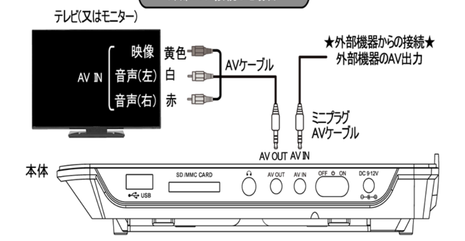
① タイトルが一つでメニューが用意されたDVDの場合
② タイトルが2つ以上記録されたDVDの場合、ディスプレイにタイトルが表示されます。この表示が出た後、「上下左右の移動キー」で好みのタイトルを選択し決定キーをおす。

★注1 DVD/CDを本体に装着後、記録された情報量により、読み取りに時間がかかる場合があります。その時は、LCDパネルにタイトルやメニュー又は、記録内容が表示されるまで、お待ち下さい。

1. 本体「㉔ 電源スイッチ」をON側にして、電源を入れる。
2. 再生するディスクのラベル面を上にして、ディスク開閉キーを左側に移動して、ディスクドアーを開け真ん中の回転軸にカチッと音がするまで、しっかり取り付ける。
3. タイトル画面が自動的に表示された場合、移動キーでそれぞれのタイトル選択し、再生したいタイトルを選択します。
4. 本体の「⑭再生/一時停止(PLAY/PAUSE)」、またはリモコンの「(16) 再生・一時停止」キーを押して、再生を開始します。

★ご注意(重要)★
リモコン(1)または本体リモコン

外部TVに接続した場合



1. DVD操作をする前に、確実にテレビと接続されている事を確認して下さい。
2. 接続したテレビの入力モードを、外部入力 あるいは DVDに切り替える
3. 後は、上の 「外部テレビを接続しない場合の操作と同じです。

★お知らせ★ 外部TVに接続中でも、本体は通常の再生として、その画面も表示されます。

DVD/CDのいろんな操作

DVD ズーム再生

「(2)ズーム」キーを押すごとに、2倍⇒3倍⇒4倍⇒1/2⇒1/3⇒1/4⇒(元のサイズに戻る)
※このサイズ表示は、実寸ではなく、ガイドラインとしての表示です。

タイトル表示

リモコン「(20)タイトル」、または本体「⑥チャプター・タイトル(TITLE)」キー

表示された内容を、移動カーソルキーで選択し、決定キーをおしますと選択した箇所から再生を開始します。

再生情報表示

OSD 再生情報の表示入/切を操作します。
本体「⑯再生情報表示」キーで行います。
このキーを押すごとに以下の様に表示が切り替わります。

一回押し：タイトル再生時間
二回押し：タイトル残り時間
三回押し：チャプター再生時間
四回押し：チャプター残り時間
五回押し：表示なし

DVD アングル切替

DVDソフトの中には、同じシーンを違った角度で記録されたものがあります。
その場合、「(24)アングル」キーを押すことで、違った角度での鑑賞が可能です。

DVD スロー再生

「(3)スロー」キーで操作します。
DVDを正常再生時、キーを押すごとに、再生スピードが
1/2 ⇒1/4⇒1/8⇒1/16⇒
逆戻り1/2 ⇒1/4⇒1/8⇒1/16⇒
通常と切り替わります
(再押しで繰り返しとなります。)

メニュー表示と設定

リモコン「(22)メニュー/再生操作」とまたは本体④MENU/PBCキー

1. リモコンの「(22)メニュー/再生操作」または本体④MENU/PBCキーでディスクに記録されている内容や再生時の設定方法を表示します。
2. リモコンの(6)、(9)、(10)、(18)または本体⑦カーソルキーで希望の内容を選択し、リモコン「(8)確定」または本体「⑩確定」キーを押します

消音

リモコン「(4)消音」、または本体「①MUTE」キー

再生時の音を出なくしたり出したりと切り替えます。
消音をオンにすると画面左下に「ミュート」と表示されます。

DVD/CDのいろんな操作

DVD/CDプログラム再生

DVD

タイトル番号・チャプター番号を選択してプログラム再生の設定をします。
1. 「(20)タイトル」キーでタイトル画面を表示します。
2. 「(12)プログラム」キーでプログラム画面を表示します。
3. 「(5)数字」キーで「TT:」の欄の好みのタイトル番号を入力します。
4. 再生順の欄に移動しますので、続けて番号キーで再生順番号を入すると「CH:」に移動しますので好みのチャプター番号をします。
4. この後は同じ操作で入力して行きます。(最大20チャプターまで登録されます。)
5. 移動ボタンで、プログラムメニュー画面の「再生開始」を選択し、「(8)確定キー」を押すと、リストに従って再生を開始します。

CD

1. 自動再生開始し、トラック情報が表示されたら、リモコン「(12)プログラム設定」キーを押します、
2. 「(5)数字キ」ーで好みのトラック番号を選定します。(自動的に再生リストの1から順に最大20曲まで、登録可能です。)
3. 移動ボタンで、メニュー画面に表示されている「スタート」を選び、「(8)確定」キーを押すと、リストに従って再生を開始します。
再生中は、「プログラム再生」と表示されます。
4. 停止するには、画面に表示されている「停止」を選択します。

★ご注意★
MP3−CDはプログラム再生はできません。

※ リストから個別に解消・訂正する場合は、プログラム中、移動キーで選択後「(5)数字」キーで入れなおします。
※ プログラム再生を停止するには、画面に表示されている「終了」を選択し、「(17)停止」キーを押します。

DVD/CD/MP3-CDリピート再生

「(13)リピート」キーを押して設定します。

DVD
1回押し：チャプター単位で繰り返し再生
2回押し：タイトル単位で繰り返し再生
3回押し：全部の繰り返し再生
4回押し：通常再生に戻ります。

CD
1回押し：トラック単位で繰り返し再生
2回押し：全部の繰り返し再生
3回押し：通常再生に戻ります。

MP3-CD
1回押し：トラック単位で繰り返し再生
2回押し：フォルダー単位で繰り返し再生
3回押し：通常再生に戻ります。

CD/MP3-CDの基本操作

DVD装着と同じ方法でディスクを装着する。

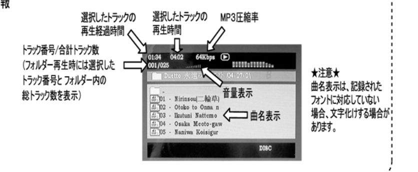
★お願い★
記録時の状態によりMP3-CD再生中に動作が固定される場合があります。そのときは、電源スイッチを一旦オフにして、再度オンして再生を開始してください。

■フォルダーがないディスク
記録情報を読み取り後、再生が自動再生されます。

■フォルダーがあるディスク
1)記録情報を読み取り、通しのトラック番号「01」から自動再生されます。
2)ホルダー内のお好みの曲を再生する場合は、「(17)停止キー」をいったん押し、「(12)プログ」キーを押して、フォルダー再生にに切り替えます。
3)上下移動カーソルキーでお好みの曲を選択、または「(5)数字」キーでトラック番号を直接入力してお好み曲を選択します。
4)「(16)再生」または「8)確定」キーを押して再生を開始します。
5)停止は「(17)停止キー」を押します。 次に本体の電源を入れたまま、再度、再生する場合は、「(16)再生」キーを押します。

★フォルダーがあるディスクの場合★
1) 「(12)プログラム」キーを押ごとに、「ファイル一覧」⇔「フォルダー再生」 に交互に切り換ります。
＊「ファイル一覧」： フォルダーに関係なく記録されている全トラックが表示されます。･･･トラック検索に有効です。
＊「フォルダー再生」： 記録されているフォルダーが表示されます。(8)確定キーを押してフォルダーを開く⇒フォルダー内のトラックが表示されます。･･･フォルダー検索に有効です。
2) フォルダー再生モード時、「16)再生・一時停止」キーを操作する事で、以下のモード切替表示が可能です。
合計フォルダー数の表示 ⇔ フォルダー内の全トラック数表示

MP3−CD 画面情報



選択したトラックの再生経過時間
選択したトラックの再生時間
MP3圧縮率
トラック番号/合計トラック数(フォルダー再生時には選択したトラック番号と フォルダー内の総トラック数を表示)
音量表示
曲名表示
01:34
04:02
64Kbps
001/025
DISC

★注意★
曲名表示は、記録されたフォントに対応していない場合、文字化けする場合があります。

■他トラックへの移動： リモコンの「(6)前スキップと、(9)次スキップ」キーで移動させます。
■早送り/早戻し ： リモコンの「(9)早戻しと(18)早送りキー」で操作します。2倍、4倍、8倍、16倍、32倍のスピードが選択可能です。

SDメモリーカード ・ USBメモリーについて

本機で使用可能のSDメモリーカード

- ●SDメモリーカード、miniSD・microSDカード(専用アダプターが 必要です)が使用可能です。
- ●使用可能なSDメモリーカードの容量は、4GBまでとなりますが記録された情報を読み取るのに、多少時間がかる場合がありますので、読み取りが完了し、テレビ画面に表示されるまでお待ち下さい
- ●使用可能領域は表示容量より少なくなります。
※4GB以上のSDモリーカードに関しては動作を保証していませんので、出来る限り4GB以下の物をご使用下さい。

これらメモリー機器の取扱い注意

- ●これらをを取り外す際には本体の電源をお切り下さい。
- ●オリジナルで貼られているラベルははがさないで下さい。また新たにラベルやシールを貼らないで下さい。
- ●これらメモリーに鉛筆やペンで文字などを書かないで下さい。そのメモリーの故障、データ損失の原因になります。
- ●メモリー内のデータはバックアップを取っておくことをお勧めします。
※メモリー機器本体や、記録されているデータに関しての保証は致しませんのでご注意下さい。
- ●煙が出たり、変なにおいがする等異常を感じたら、すぐにご使用をやめ、電源をお切り下さい。
- ●これらメモリー機器の分解や改造は絶対にしないで下さい。
- ●これらメモリー機器にはプラスチック、金属部品を含んでいます。 燃えると危険ですので、廃棄する場合は各自治体の指示に従ってください。
- ●これらメモリー機器を挿入したまま本体を移動しない。移動中に落としてしまったり、物に当てるなどして破損したりけがをする原因となります。
- ●SDメモリーカードの保管場所に関して、
・湿気やホコリ、油煙の多い場所で使用、保管しない。
・直射日光の当たる場所やストーブやヒーターなどの熱源のそばで使用、保管しない。
・密閉された自動車の中(とくに夏期)などに長時間放置しない。
- ●SDメモリーカードの端子部に指や金属で触れない。故障の原因となります。
- ●SDメモリーカードに物を当てたり、投げる、落下させる等の強い衝撃を与えない。
- ●メモリー機器の種類によっては処理速度が遅い場合があります。

本機で使用可能のUSBメモリー

- ●本機で再生可能ファイル形式はAVI, JPEG、WMA、MP3、のいずれかで、DRMコピープロテクション(著作権保護)がなされていないファイルのみです。
★これらファイル形式に関しては次ページの再生可能ファイル形式を参照ください。
- ●本機とパソコンをUSBケーブルで接続して音楽ファイルや画像ファイルを再生することはできません。
- ●USBハブには対応しておりません。
- ●容量の大きいUSBメモリーを接続したときは、読み込みに多少時間がかかることがあります。
- ●U3機能対応・指紋ロック・セキュリティ機能が付加されているUSBメモリー機器には対応しておりません。
- ●USBメモリー機器は、1パーテイションの条件で動作します。
※8GB以上のUSBメモリー機器に関しては動作を保証していませんので、出来る限り8GB以下の物をご使用下さい。
- ●ハードディスクタイプのUSB機器は動作が不安定になる恐れがあります。
- ●以下の製品については使用できません。
アップル製デジタルミュージックプレーヤー「iPod／iPhoneシリーズ」

ソニー製デジタルミュージックプレーヤー「ウォークマンシーリズ」

松下電器制SDオーディオプレーヤー「D-snapオーディオシリーズ」

東芝製デジタルミュージックプレーヤー「gigabeatシリーズ」
- ●本機は全てのUSB機器との動作互換を保証するものではありません。

USB/SDカード再生

★重要なお願い★
1. USBメモリー/SDカードにデーターが入っていない状態 或いは、挿入されていない場合は、リモコンの「(23)メディア/DVD切替」キーを押さないで下さい。
2. 動作がおかしくなったり、フリーズした場合は、電源スイッチを切り、ACアダプターをはずして本体が冷えるのを待って、再度ACあだプアーを接続し、電源をいれて下さい。

再生可能ファイル形式

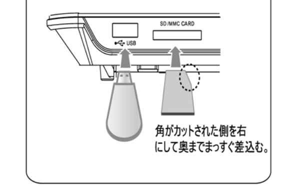
MP3 ※1　WMA　JPEG ※2　AVI ※3

※1 ISO9660に準拠したMP3方式で圧縮された音楽ファイル。
※2 ･ファイルシステムISO9660に準拠 ･拡張子JPG
･特殊文字のないファイル名
･ファイルサイズ 10MB以下
･フォーマット BASELINEのみ
･色表示モード RGMのみ
以上のファイル形式である事。
※3 記録されたときの音声コーデックの条件により、音声が途切れる時があります。

⚠ 注意　記録状態により音とびや映像が乱れたり、再生できない場合があります。

メディアの装着

本体右側面にある、⑱USB端子と⑲SD/MMCカード挿入口に以下の様にそれぞれのメディアを確実に最後まで挿入する。



角がカットされた側を右にして奥までまっすぐ差込む。

再生

★重要なお願い★
これらのメモリーを抜き取るときは、必ず電源スイッチを「切」にしてから、抜き取って下さい。

メディアを本体に挿入した後、
1. リモコンの「(23)メディア・DVD切替」キーを押します。キーを押すごとに、DVD⇒USBモード⇔SDカードモード⇒(DVDに戻る)と切り替わります。
2. USBモード・SDカードモード共にフォルダーに関係なく、最初のデータから自動再生を開始します。
3. 好みのフォルダーやトラックを選択します。「停止」モードにし、リモコン「(12)プログラム」キーを押して、表示します。
4. 選択後は、リモコン「(8)確定」キーまたは「(16)再生」キーを押すと再生を開始します。
5. 停止は「(17)停止」キーを押します。

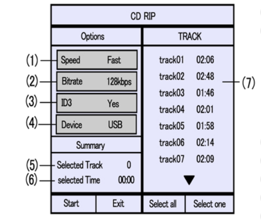
CDからUSBメモリー/SDカードにMP3録音

★重要なお願い★
1. セットする記録メディアに既に記録されている重要なデータは必ずバックアップ保存しておいてください。
2. CDから記録メディアを録音をした後に再生したい場合は一旦、電源を切り、記録メディアを抜き取り、電源を再度入れなおしてから、差込み再生をしてください。
3. 入力無効やフリーズした場合は、主電源を切り再度、電源を入れてください。
4. 同時にUSBとSDカードには録音はできません。

1. 記録先として、USBフラッシュメモリーまたはSDカードをそれぞれの挿入口に確実に挿入します。
2. MP3音楽コピーを作成したいCDディスクを本機に装着します。

ご注意
＊記録メディアに空き容量がないと記録できません。
＊本機では記録メディアに記録されているデータを削除することはできません。
＊録音中は、本機の音量・音質を変えても録音される音声には影響ありません。
＊メモリー容量の大きい記録メディアを接続したときは、読み込みに多少時間がかかることがあります。
＊以下のメニュー表示欄で、「device none」と表示されましたら、記録メディアの読み込みがされていませんので、他のメディアに交換するか、メモリーに記録スペースがないか等、パソコンでチェックして下さい。
＊すでに途中まで録音されている場合は、本機が未登録部分を探して録音します。上書きで録音はできません。
＊本機ではフォルダー名やファイル名の入力はできません。
＊本機ではMP3/WMAファイル形式のディスクからの録音はできません。市販の音楽CDのみとなります。

3. リモコンの「(15) CDコピー」キーを押すと、以下のメニュー画面が表示されます。



CD RIP

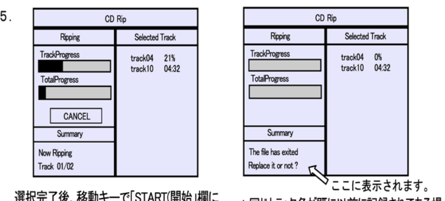
Options		TRACK	
Speed	Fast	track01	02:06
Bitrate	128kbps	track02	02:48
ID3	Yes	track03	01:46
Device	USB	track04	02:01
Summary		track05	01:58
Selected Track	0	track06	02:14
selected Time	00:00	track07	02:09
Start	Exit	Select all	Select one

(1) 録音スピード
(2) ビットレート(圧縮率)工場出荷時設定は128kbsです。ENTER(確定)キーを押すごとに「96K⇒128K⇒192K⇒256K⇒320K⇒96Kに戻る」と、設定変更が可能です。
(この数値が大きいほど、音質はよくなりますが変換後のファイルサイズは大きくなります。)
(3) ID3情報の書き込みを選択します。
(4) 録音先メディアの検出状態
(5) 選択したトラックの数
(6) 選択したトラックの再生時間
(7) 録音元のCDトラック名と再生時間

4. 希望のCDトラック名(番号)欄に、「移動カーソル」キーで移り、好みのトラックを同じく移動カーソルキーで選んだ後、(8)確定キー押します。(選んだトラック番号の頭にチェックマークが入ります)。

CDからUSBメモリー/SDカードにMP3録音

5.



CD Rip
Ripping
TrackProgress
TotalProgress
CANCEL
Summary
Now Ripping
Track 01/02
Selected Track
track04 21%
track10 04:32

CD Rip
Ripping
TrackProgress
TotalProgress
Summary
The file has exited
Replace it or not ?
Selected Track
track04 0%
track10 04:32

ここに表示されます。

選択完了後、移動キーで「START(開始」欄に移動し、確定キーを押すと変換録音が開始し、上のメニュー画面に切り替わります。

＊同じトラック名が既に以前に記録されてある場合は、メニュー画面の下側に「既に同じファイル名があります。上書きしますか？」と表示されますので、上書きの場合は「OK」を、違う場合は「キャンセル」を選択して、確定キー押します。

6. 終了後は、移動キーでメニュー画面の「exit」にあわせ、確定キーを押して下さい。
7. 変換コピーされた音楽は、記録したメディアの中の「CDA_RIP」というフォルダーに保存されています。

⚠ご注意 ■録音中や録音画面表示中は振動を与えたり,記録メディアを抜いたりしない下さい。

JPEG(写真)ファイルの再生

■ご注意

本機のJPEGファイル再生は、以下の内容のファイル形式以外は再生しませんので、あらかじめご了解ください。
1. ファイルシステムISO9660に準拠
2. 拡張子JPG
3. 特殊文字のないファイル名
4. ファイルサイズ 10MB以下
5. フォーマット BASELINE/プログレッシブ方式
6. カラーモード RGBのみ

■基本的な操作

1. DVDと同じ方法でディスクをセットする。
2. 自動的に記録内容の読み取りを開始した場合は、リモコン「(22)メニュー」キーと「(12)プログ」キーで写真ファイルのあるフォルダーを表示します。
3. 表示後、リモコン「(8)確定」キー⇒カーソル移動キーで希望のファイルを選択します、
4. 選択後、リモコン「(8)確定」キーを押すと再生を開始します。
5. 停止するには、リモコンの(7)停止(STOP)キーを押します。

画面表示の回転

再生中に、リモコンの上下移動キーで操作します。
右向き矢印：時計方向に回転
左向き矢印：反時計方向に回転
上向き矢印：さかさま表示
下向き矢印：水平反転表示

画面表示開始方法の選択

「再生」時に、(12)プログラム設定(プログ)キーを押します。
そのプログラムキーを押すごとに、表示開始方向が変わります。(選択できます)

表示の拡大・縮小

リモコンの「(2)ズーム」キーで操作しますが、画面表示の数字は、実寸と異なりガイドラインとしての数字になります。押すごとに、125%⇒150%⇒200%⇒75%⇒50%⇒オフと切り替わります。
★ ズーム表示中に、カーソルキーを押すと、表示する範囲を動かせます。
★ ズーム中はズームした画面のみ表示します。

製品仕様

画面	型式	9インチ、 LEDバックライト方式液晶
	画面比 / パネル解像度	16:9 / 480X234 RGB
DVD部	形式	トップローディング、縦置きメカニズム
	カラー方式	NTSC方式
	スロースピード	1/2、1/4、1/8、1/16
	早送り/早戻しスピード	2倍、4倍、8倍、16倍、32倍
	拡大	2倍⇒3倍⇒4倍⇒1/2⇒1/3⇒1/4⇒(元サイズ)
	プログラムメモリー	CD：最大20曲
対応メディア他	対応メディア/フォーマット	DVD, DVD-R/RW、オーディオCD、CD-R/RW
	対応ファイルフォーマット	DVD−VIDEO, MPEG-4(AVI), VIDEO-CD, CD-DA, MP3, WMA,, JPEG(＊)
	その他対応メディア	SDメモリーカード、MMC, USBフラッシュメモリー
アンプ部	音声出力	最大 1.2Wx2
	スピーカードライバーサイズ	28mmコーン型
	ユーザーインターフェース	USB2.0, SD/MMCカード
	CPRM機能	VRモード
	MP3変換・コピー機能	ビットレート(96K、128K、192K、256K、320kbs選択)
端子	入力	AV入力(3.5mm径)ミニプラグ ACアダプター接続端子
	出力	AV出力(3.5mm径)ミニプラグ ヘッドフォン端子
総合	電源	AC 100V、50/60Hz DC 7.4V、1000mAh (リチュームイオン電池) DC 1.5V(ボタン電池、リモコン動作確認用)
	消費電力	14W
	寸法(mm) (本体のみ)	400(幅) X 175 (奥行き) X 44 (高さ)
	重量 (本体のみ)(総重量)	約0.9Kg、 約1.2Kg (全アクセサリーと化粧箱を含む)
付属品	■リモートコントロール ■AVケーブル ■車載用DCケーブル ■取扱説明書 ■ACアダプター(本機専用。他の機器には使用できません)。	

＊JPEG：・ファイルシステムISO9660に準拠 ・拡張子JPG ・特殊文字のないファイル名 ・ファイルサイズ 10MB以下
・フォーマット BASELINE ・カラーモード RGB、以上のファイル形式である事。
＊上記の内容は、改良のため予告なく変更する場合があります。 あらかじめご了承お願いします。

故障かな？と思ったら

長時間使用の場合、本体が熱を持ちますが、使用には差しつかえありません。

修理をご依頼する前に、この表で症状をお確かめください。 これらの処置をしても問題が解決しない場合には購入された店舗、または当社までご連絡ください。

	こんなときは	ここをご確認ください	処 置
システム全体に共通	電源が入っているのに音が出ない。	音量調整レベルを再確認 或いはMUTE(消音)スイッチがオンになっていませんか	両方をもう一度チェックしてみる。
	再生中に「ブーン」という音がする。	接続コードの近くに電源コードや蛍光灯がありませんか？	電気器具を本機からできるだけ離す。 電源コードを逆に差し替えてみる。
リモコン	リモコン操作ができない。	電池の⊕⊖が逆になっていませんか？	⊕⊖を正しく入れる。
		電池が消耗していませんか？	新しい電池と交換する。
	他の機器のリモコンで、本機が誤動する。	当社製の機器を同時に使っていませんか？	本機と各機器の距離を離すか、各機器の電源を切る。
メディア(USB/SDカード)	CDからのコピーがうまくいかない。	メディアは正しく挿入されていますか？	挿入をやり直してみる。
		コピーメニュー画面でメディアが認識されていますか？	パソコンでメディアの内容と状態をチェックしてみる。可能なら、再フォーマットをしてみる。
		コピー保護されたCDではありませんか？	CDのラベルを調べてみる。
	選択した一部の曲しかコピーできない。	メディアの空き容量は十分ですか？	パソコンで調べ、必要な空き容量を確保する。
		設定したMP3圧縮率が低いのでは？	圧縮率を最低の96Kbsに変更して、試してみる。
		コピーの進行中の途中で、何か操作をしませんでしたか？	再度、操作をやり直してみる
ディスク(DVD/CD)	テレビに映像が映らない。画面サイズがおかしい。	テレビへの入力は正しいですか。	本機の接続に合わせて、テレビのビデオ入力を切り換える。
		設定画面でビデオ出力を正しく設定しましたか。	設定やり直してみる。
	ディスクを入れても再生されない。	規格外のディスクではありませんか。	規格と適合したディスクに取り替える。
		本機で再生できるディスクですか。	ディスクのジャケットを確認する。
		寒い所から暖かい所に移動して急激な温度変化はありませんか。	レンズ部の露つきが考えられますので、約一時間待ってから使用してみる。
		回転している様だが、何か異音が聞こえていませんか？	ディスクをもう一度、しっかりと正しく装着し直してみる。 ラベル側が表になっているか再確認して見る
		DVD/AV切り替えモードがAVのままではありませんか？	DVD/AVキーを操作してみる。

故障かな？と思ったら

	こんなときは	ここをご確認ください	処 置
ディスク(DVD/CD)	音声言語、字幕言語が切り換わらない。アングルを変えられない。	再生中のディスクに、複数の言語や字幕、アングルが記録されていますか。	ディスクのジャケットを確認してください。
	WMA/MP3ディスクが正しく読み込まれない。	マルチセッションでディスクを作成している場合、セッションの終了処理をしましたか。	セッションの終了処理を行なったWMA/MP3ディスクをご利用ください。
	特定の箇所が正常に再生しない。操作してもうまく動かない。	ディスクが汚れていませんか。	柔らかい布などでふいてみる。
SD/USB	操作ができない。	USBとカードは共に正しく入っていますか。	共に正しく入れなおしてみる。
		本機で使用できないカードではありませんか。	カードのタイプを再確認してみる。
		DVDモードに戻したり、停止キーを押しても、DVDモードに切り替わらない。	主電源を切り、電源コードを抜いた後、再び電源コードをつなぎ、主電源を入れ直してみる。
	再生できない。	録音データにDRM(著作権保護機能)がかかっていませんか。	本機では著作権保護機能のかかったデータには対応していません。

Q&A(よくあるご質問)

マルチチャンネル音声を楽しむにはどのような機器が必要か	●光デジタルケーブル ●同軸デジタルケーブル ●光 あるいは 同軸デジタル端子対応AVアンプ ※お近くの量販店にてお買い求めください。
海外で買ったDVDビデオビデオCDは再生できるか	●海外のDVDソフトやビデオCDの再生については当社は保証致しません。
映像方式がPALのディスクは再生できるか	●再生できません。(日本国内のテレビ映像方式はNTSC方式であり、PAL方式には対応していません)
ビデオに録画できるか	●ほとんどのDVDはコピー禁止処理がされており、録画できません。

長年ご使用の製品点検を

こんな症状はありませんか	・電源が入らない ・音が出ない ・煙りがでたり、異常な臭いや音がする ・水や異物が入った ・その他の異常や故障がある

上記のような症状のときは、使用を中止し、故障や事故防止のため、必ずお買い上げの販売店に点検(有償)をご相談ください。